

2024.11.07

江之浦測候所見学会

日時：2024.11.07（木）

集合：JR 東海道本線 根府川駅 12：45

解散：根府川駅周辺 17:30・懇親会 19:30 まで

見学場所：江之浦測候所

ショートレクチャー&懇親会：Workcation House U（根府川駅より徒歩3分）

CPD：申請中

案内：講師・新素材研究所 榊田 倫之氏

参加費：見学会&ショートレクチャー 4,800 円

懇親会 軽食 + フリードリンク 4,600 円



主催：日本建築家協会関東甲信越支部住宅部会



(c) Odawara Art Foundation

小田原文化財団 江之浦測候所

現代美術作家・杉本博司自らが敷地全体を設計した壮大なランドスケープ「江之浦測候所」は、ギャラリー棟、野外の舞台、茶室などで構成され、人類とアートの起源に立ち返り、国内外への文化芸術の発信地となる場として構想されました。長さ 100メートルに及ぶギャラリー棟には杉本博司のアート作品が展示され、野外の石舞台、光学硝子舞台では、さまざまなプログラムを開催しています。

構想：杉本博司

基本設計・デザイン監修：株式会社新素材研究所

実施設計・監理：株式会社榊田倫之建築設計事務所

施工：鹿島建設株式会社

タイムテーブル

12:45 JR 根府川駅集合

バスで江之浦測候所移動

13:40 より解説ツアー 60分

14:40 から自由見学 50~80分

各自バスで根府川駅移動

16:10 Workcation House U 集合

16:30 ショートレクチャー 60分

17:30 懇親会開始（自由参加別料金）

19:30 解散

Workcation House U（ショートレクチャー & 懇親会場）



1953年に建てられた木造の建物は、もともと片浦村役場として建てられ、その後小田原市役所の支所として使われていました。真っ青に広がる相模湾の水平線と空を臨むその建物は、2019年にその役目を終えるまでの64年の間、地元の人々に大切に使われてきました。長く根府川のシンボルだった建物は、2022年にワーケーション施設として生まれ変わることになりました。



photo: Mie Morimoto

榊田倫之（さかきだ・ともゆき） |

1976年滋賀県生まれ。建築家。

2001年、京都工芸繊維大学大学院建築学専攻博士前期課程修了後、株式会社日本設計入社。2003年、榊田倫之建築設計事務所設立後、建築家岸和郎の東京オフィスを兼務する。2008年、現代美術作家・杉本博司と新素材研究所を設立。京都芸術大学客員教授、宇都宮市公認大谷石大使。杉本博司のパートナー・アーキテクトとして数多くの設計を手がける。

2019年、第28回BELCA賞など受賞多数。

著書に『素材考—新素材研究所の試み』（平凡社、2023年）、杉本博司との共著に『Old Is New 新素材研究所の仕事』（日本語版：平凡社、英語版：Lars Müller Publishers、2021年）。